

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回行田市環境審議会
開催日時	令和5年7月19日(水) 開会：午後2時00分 閉会：午後2時50分
開催場所	行田市総合体育館 2階 会議室
出席者(委員)氏名	嶋田知英委員(会長) 古谷民子委員(副会長) 大竹由夏委員 新井智委員 佐藤良子委員 飯塚浩委員 須賀和人委員 藤井進介委員 漆原ひろみ委員 青木孝茂委員 以上10名
欠席者(委員)氏名	猪狩亮平委員 以上1名
事務局	環境課：柿沼課長 坂本主査 吉田主任
会議内容	(1) 第3次行田市環境基本計画 基礎調査結果について (2) 第3次行田市環境基本計画 計画素案について
会議資料	・次第 ・資料1 行田市環境審議会委員名簿 ・資料2 第3次行田市環境基本計画(素案) ・資料3 令和4年度 行田市自然環境調査報告書
その他必要事項	傍聴人3名

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 嶋田会長</p> <p>議長につきましては、本審議会設置条例第6条第1項の規定により、嶋田会長にお願いする。</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 第3次行田市環境基本計画 基礎調査結果について</p> <p>(2) 第3次行田市環境基本計画 計画素案について</p> <p>事務局 「資料2 第3次行田市環境基本計画（素案）」により説明。</p> <p>議長 ただいまの事務局説明について、質疑・意見のある方は、挙手をお願いする。</p> <p>新井委員 SDGsの達成目標は2030年までとしており、環境基本計画の計画期間は2033年である。目標とする期間が異なることから、冒頭にSDGsの項目を示すのではなく、施策を示した上で、関連するSDGsを表現してみてもどうか。</p> <p>事務局 ご指摘いただいた事を踏まえ、表現について検討する。</p> <p>古谷委員 44.45ページのアンケート回答率は、事務局の想定より上回っているか。</p> <p>事務局 今回のアンケート結果については、10年前に実施した前回の回答率を上回っており想定以上である。</p>

古谷委員	アンケートの年齢は無作為抽出を行ったのか。また、どの年齢層の回答率が高かったのか。
事務局	抽出方法は、男女を含め20歳ごとに区分けして階層ごとに同等数 を無作為に抽出し、照会をしている。44ページ、年齢構成を示した 円グラフで示したとおり高齢層の回答が多い結果となった。
古谷委員	アンケート結果だけ示すのではなく、質問内容も資料に追加した方 がよい。
事務局	調査内容についても掲載していく。
嶋田会長	アンケート結果において重要性が高いけれども満足度が低い項目を 重要施策としていると説明あったが、21ページの施策の体系の4 -1生物多様性の保全について重要施策として掲げているが16ペ ージの市民意向では満足度と重要性がイコールで維持・継続目標と しているように思えるが、他に重要施策の位置づけに理由かあるの か。 また、重要施策の位置づけの説明を表記すべきではないか。
事務局	生物多様性の保全を重要施策にした理由を含め素案に明記する。
嶋田会長	レーダーチャートの使い方は、例えば各科目の得点をチャートにす るなど、バランスを見る目的で使うが、素案では一つの質問を重ね ているので棒グラフや円グラフなど別の表現が良いのではないか。
事務局	提案いただいた表現を含め検討していく。
青木委員	資料23ページのアンケート結果から参加者が少ないのが分かる。 棒グラフに比率を示していただきたい。 市民・事業者の役割の中で観察会、講演会等への積極的参加とある

	が、具体的にはどのような観察会や講演会なのか。
事務局	具体的な観察会や講演会は把握していない。各団体において開催されるイベントへ市民などに積極的参加を求めている。また、アンケート上でも団体イベントを具体化して質問していない。 なお、15ページの環境配慮活動として各団体の事業を明記しているが、できる限り情報を追加して載せてまいりたい。
嶋田会長	アンケート回答にイベント関係の書き込み等があるか確認し、記載があるものは追記していただきたい。
事務局	アンケートを精査し、記載があるものは掲載していく。
新井委員	23ページの環境教育について小中学生などの学生を対象としている記述に読める。市民全体を対象とする環境教育の記述に修正が必要ではないか。
事務局	市民全体を対象とした環境教育の記述に修正する。
漆原委員	23ページの棒グラフの標記では、参加した・参加していない、今後参加したいの3つから選んでいるようだが、参加していない人と今後において参加したいと回答が重なっているように見える、グラフの表記方法に工夫が必要ではないか。
事務局	グラフの変更も含め、表記方法を工夫していく。
飯塚委員	10ページに文言に誤りがある。「埼玉県と茨城県を結ぶ」を「埼玉県と千葉県を結ぶ」に修正が必要。表現について検討いただきたい点がある。国道125号バイパスと表記しているが、正式には国道125号に変わっている。しかし、市民の中では現在もバイパスと表現される方もいる。表記について検討をお願いしたい。

	<p>また、11ページの河川の表記についても検討いただきたい。上流の忍川から忍川と旧忍川に分かれるのが正式であるが、上流の忍川から新忍川と旧忍川と表記されている。地元市民の認識や現計画との整合性から、表記について検討をお願いしたい。</p> <p>市民が分かりやすい表現にする事も重要であると思うが検討をお願いしたい。</p>
事務局	<p>文言の誤りについては修正する。道路及び河川にかかる表現については検討する。</p>
嶋田会長	<p>36ページ（地域気候変動適応計画）の部分について、この計画は、温対法上の地域施策編には位置付けないと聞いているが、気候変動適応法上の適応計画としては位置付ける認識でよいか。位置づけるのであれば、冒頭（2ページ）の計画の位置づけのところに明記した方がよいのではないか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、気候変動適応法上の適応計画としての位置づけも兼ねておりますので、冒頭の計画の位置づけに明記していくとともに、必要となる表現についても精査していく。</p>
漆原委員	<p>36ページ（地域気候変動適応計画）の部分について、数字の表現が全角と半角が混在している。統一して明記したほうが良い。また、目次の表記について、令和4年度行田市自然環境調査の目次と本計画素案の目次の表現が違うので統一した表現はできないか。</p> <p>45・46ページ（アンケート結果）の円グラフ表記について、ドーナツ型の表現の方が見やすいのではないか。</p>
事務局	<p>数字の表現については統一した表現に修正をする。</p> <p>目次に係る表現については、他の計画と整合性を図り統一性を持った表現ができるか検討する。また、アンケート結果の表記についても、意見を踏まえ見やすい表現について検討していく。</p>

古谷委員	33 ページ（緑地環境の保全）の環境指標の記載がないが、まだ決定していないのか。
事務局	緑地計画など他の計画と整合性を図りパブリックコメントまでに環境指標を決めていく。
嶋田会長	指標設定について、この計画上では定量的な評価を設定しないのか。
事務局	本計画の施策の実行性を高めるため本計画を策定後に実行計画を策定する予定である。その実行計画の中で定量評価を行っていく予定ではあるが、本計画の中で定量評価できる部分があるか精査していく。
古谷委員	31 ページ（創エネルギーの推進）について、指標を太陽光発電システムの住宅設置率としているが、太陽光発電に限定するのではなく、市民も取組める新たな手法について、明記してほしい。しかしながら、地形や環境、費用面などの課題もあり難しいと認識しているところではあるが、研究してほしい。
事務局	市としても、市民や事業所レベルの新たな手法を打ち出すのに苦慮しているところである。 市では、新ごみ処理施設を建設し、廃棄物を燃やすときに発生する熱エネルギーを回収して利用するサーマルリサイクルの導入を進めており、令和9年度を目標設定としている。
嶋田会長	農地にソーラーパネルを設置し、その下で農作物を作るソーラーシェアリングもある。行田市は、農地も多いため導入に向けた研究も有効ではないか。
新井委員	創エネルギーについては、実行計画を策定する上で大きな課題になると思う。費用面の予算確保が必要不可欠であり、本計画を10年

<p>事務局</p> <p>飯塚委員</p> <p>嶋田会長</p>	<p>間進めていく上での定量評価の設定も難しい。現実性が伴わない設定もできないため、他の自治体が取り組む施策について研究を進めてほしい。</p> <p>行田市に豊富な水路があることから、マイクロ水力発電も有効ではないか。</p> <p>マイクロ水力発電については、現在、業者から水路の他に浄水場などへの設置提案について来週、事業者から説明もらう予定である。市としても新たな取組みの導入に向け研究を継続していく。</p> <p>埼玉県でも小水力発電として秩父の横瀬町で取り組んでいるところではあるが、権利等の問題で前進していない実情がある。</p> <p>ほかに質問・意見がないため、本日の議題の審議は終了とする。</p> <p>これをもって、議長の職を解かせていただき、事務局に進行をお返しする。</p>
<p>事務局</p>	<p>4. 閉会</p> <p>以上をもって、第1回行田市環境審議会を閉会とする。</p>